



平成 25 年 2 月 8 日 第 2 卷(第 43 号)

発行： 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル 2F

災害対策本部 TEL (03)3351-5038

FAX (03)5366-1058

mail:dsstsw@jaswhs.or.jp

*** 目 次

1. 現地支援活動報告
2. 現地感想文
3. 災害対策本部からのお知らせ
4. 事務所感想文



石巻古民家再生。

— 現地石巻 photo —

*** 1. 現地支援活動報告

活動期間:2013年1月17日~1月19日

松下 麗子 (大阪府 済世会中津病院)

わずか三日間でしたが、石巻市現地で活動させていただきました。現地スタッフの方々には細やかな心配りまでしていただき大変お世話になりました。ありがとうございました。

私自身、今まで災害支援というものに関わったことはありませんでした。阪神大震災時もまだ学生であり、住んでいたのも大阪の南の方であったため被災もせず、災害というものをどこか現実離れたものと思っていたように感じます。

今回、私が石巻を訪れた時期は、この地域でも珍しいほどの大雪だったようで、家庭訪問の際には滑って転倒することもありましたが、現地で生活されている方々の大変さを少なからず体験することができたように思います。数件伺った家庭訪問では皆さんが明るく私たちを迎えてくださり、被災者の皆さんも意識をして私達の支援を受け入れようとしてくれていることが感じられました。

石巻沿岸や女川町へも足を運ぶ機会を設けていただき、震災の爪あとが大きく残る景色には衝撃を受けました。日和山公園から見た沿岸の様子や女川町立病院の津波の痕などは、大阪に帰ってきた今でも目に焼きついているように思い出せてなりません。

わずか三日にも満たない活動でしたが、現地のソーシャルワーカーの方々とアセスメント等について意見交換できたこと、被災者の方々の声を直に聞くことが出来たことなど、今まで MSW として病院でしか働いたことのない私にとっては大変貴重な経験となりました。

これからも今回の活動の経験を忘れず、自分にできる支援の輪を広げていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

<参加を検討している方へのメッセージ>

体調管理に気をつけて無理をせず、自分にできる支援を続けていくことが大切だと感じました。

そして石巻の方々は皆さん明るく、私が元気を頂きました。

「1割送迎ボランティア」

2/6 久保木 美由紀（現地担当）

透析で週 3 回通院中のクライアントが腕にけがをしてしまい通院手段に困りました。その方は自分で運転して透析に通われていました。石巻市内の透析病院や診療所は送迎がありません。送迎を頼める家族もない…。そんな時に出会ったのが移動支援ボランティア Reraさんと日本カーシェアリング協会が始められた「1割送迎ボランティア」です。

仮設団地に置いてあるカーシェアリング協会さんの車を使用して、団地の住民が、同じ団地に住んでいる移動手段のない方をボランティア送迎するというものです。2月1日に仮設の集会所でその説明会に参加しました。運転ボランティアに手を挙げて下さった方2名が参加されました。「今までいろいろ支援してくださったから、自分にできることがあればやりたい。」と話されていました。支援の輪が広がっていくことを感じました。具体的にクライアントの相談をし始めたところ、「ご家族でできる方はいらっしゃいますか、他に通院手段はないですか。」等他に考えられる社会資源(フォーマル、インフォーマル含めて)の活用の可能性を聞かれ、ただ送迎の要望に応えるだけでなくこの支援がクライアントにとってベストな支援かを考えておられました。このようなところにもソーシャルワークは根づいています。

Reraさんはもともと石巻にて災害移動支援ボランティアをされている団体です。利用してかかる料金は3キロ100円と燃料代のみ。燃料が高騰している今この利用料金で送迎して下さるのはとても助かります。送迎の内訳は約8割が病院への送迎です。高齢の方や仮設に住居を移したり、通院していた病院が被災してしまったりと様々な理由で通院送迎を希望される方が多く、7~8台の車をフル活用され、毎日利用者の為に頑張られています。

そんなReraさんも補助事業が終了してしまうことで送迎規模を縮小せざるを得なくて、乗り合いタクシーとの協働、助け合いの推進などいろいろな手段を考えられています。その中の共助として「1割送迎ボランティア」をスタートされました。

結局私が相談したケースは依頼する事にはなりませんでした。石巻には様々なボランティアが集まり、Reraさん、カーシェアリング協会さんのような活動をされているところが多くあります。その方々が真摯に住民や支援者たちと向き合い、今後の石巻を考える姿を見て、とても刺激を受け、ソーシャルワーカーとしての支援のあり方も考えさせられました。

現地職員に着任して・・・

2/7 富永 千晶（現地担当）

1月15日より、現地職員となって1ヶ月が過ぎようとしています。震災直後から、協会の災害対策の事務局協力員や現地協力員をできる範囲で続けてきました。フェーズが変わる様子を見て、長期での支援をしてみたいと強く思うようになり現地職員の応募を決心したのが動機です。

着任して感じることは、石巻行政が復興への取り組みを直接伺える支援についての話し合いに立ち会えることの重要性です。復興住宅、地域再建など課題も多く、この時期に私が責務を果たせるのかと気落ちしてしまいます。

しかし、同僚や災害対策本部の事務局をはじめとする多くの会員のみなさまのお知恵を借りながら、丁寧に支援を行っていかれたらと思っています。

会員のみなさまと災害支援について、長期滞在でできる支援の経験を共有できるよう日々精進していきたいです。



現在の女川港。

*** 2. 現地感想文

*** 2/1 久保木 美由紀 (現地担当)

1月29日より市立病院の解体が始まりました。
石巻の風景がまた一つ変わろうとしています。



石巻市立病院 解体開始。

— 現地石巻 photo —

*** 2/4 久保木 美由紀 (現地担当)

本日、災害復興住宅への申し込みが始まるとのニュースがありました。
2/6に石巻専修大学で説明会が行われるとのこと。
申し込み方法や希望の多く集まった住宅の振り分け方法など気になる点が多く
石巻にとって今一番関心が高いニュースのうちの一つだと思います。

*** 3. 災害対策本部からのお知らせ

【1. 協力員募集】

*** 現 地

現在、1日あたり上限2~3名で募集しております。

中3日以上・なるべく平日の活動が理想的ですが、具体的な日程については、災害対策本部までお気軽にご相談ください。

*2月になりました。3月の協力員さんの参加予定はまだまだ空いております。ご都合の付く方、ご協力をお待ちしております！

活動カレンダーを掲載しておりますのでご覧ください。

また、これから応募されて活動に参加される方に向けての簡単な資料を作成中です。

*** 事務所

引き続き募集しております。

平日のみの活動ですが1~2ヶ月に1回でも構いません。ご協力をお願い致します。

【2. 災害対策本部会議】

2月の日程は未定です。

【3. 書籍販売】

『東日本大震災医療ソーシャルワーカーの支援のバトン 1』の販売を行っています。

発災から平成23年9月30日までの石巻・仙台・大槌町・事務所・災害対策本部の活動の記録をまとめました。ぜひご覧になってください。尚、売上金の全額を皆様からの寄付として、本活動の資金に充てさせていただきます。

※ご注文は注文用紙で承ります。



*** 注文用紙はホームページからダウンロードできます。

http://www.jaswhs.or.jp/date/publishing_detail.php?@DB_ID@=45

【4.facebook】



facebook でも情報をお伝えしています。現地や災害対策本部の日々の様子をお伝えしています。応援よろしくお願いたします。

*** URL

<http://ja-jp.facebook.com/pages/公社日本医療社会福祉協会-災害対策本部/156327867812970>

【5.YouTube】

現地での災害支援活動の様子を前事務所担当の一原さんがVTRにまとめて下さいました。YouTube にアップしましたので、是非ご覧ください。「医療ソーシャルワーカー災害支援」で検索すると見つかります。



*** URL

<http://www.youtube.com/watch?v=vn34I9h5rJ4&feature=youtu.be>

【6. 現地・事務所職員募集】

災害対策本部では現地・事務所職員を随時募集しています。
災害支援に関心のある方からのご応募をお待ちしております。
または周りでご興味のある方がいらっしゃいましたら、是非ご紹介ください。

*** ① 現地常駐者 (短期契約職員)

- 就業場所: 宮城県石巻市大街道北
- 就業時間: 9~17 時
※業務の関係で残業あり。
- 休日: 土曜・日曜・祝日・年末年始
※業務の関係で勤務あり。
- 基本給 250,000 円/月
- 通勤費実費支給
- 社会保険加入
- 医療ソーシャルワーカー業務経験必須
- 長期の方優遇。月単位でも応相談。

*** ② 災害対策本部事務所担当 (パート職員)

- 就業場所: 協会事務局内
- 就業時間: 週 3 日程度 10~17 時
※業務の関係で残業あり。
※頻度・時間は応相談。
- 休日: 土曜・日曜・祝日・年末年始
※業務の関係で勤務あり。
- 時給 900 円~ 通勤費は実費支給
- 経験不問。医療ソーシャルワーカー業務経験者優遇

ご応募の方は下記宛に履歴書をお送りください。面接にて決定させていただきます。
または災害対策本部までお気軽にお問い合わせください。

*** お問い合わせ

住所: 〒162-0065 東京都新宿区住吉町 8-20 四谷チンゴビル
電話: 03-5366-1057
担当: 笹岡・中川

*** 5. 事務所感想文

*** 2/4 依光 則子(災害対策本部事務所)

今日から東京の災害対策本部に初出勤です。金子さんに教えて頂きながら、石巻と東京本部のパソコンの共有環境の確認から現地撮影写真の説明など、まずはやれることからお手伝い。こちらからも災害支援活動を支えるべく、引き続き頑張ります。よろしく願いいたします！

*** 2/4 金子 小夜子(災害対策本部事務所)

今日から依光さんが災害対策本部に帰ってきました。
早速あれこれとお願いしています。

東日本大震災 MSW 災害支援ニュース
平成 25 年 2 月 8 日 第 2 卷 43 号
作 成 群馬県医療ソーシャルワーカー協会



上毛カルタ：⊙いわ（平和）の使い 新島襄

（群馬県 安中市安中）